

This **spread** the **popularity** of *tsu chu* all over China.

S' V' ... 前文の内容 O

This **is** **where** rugby and soccer **developed** into two different sports.

= 前文の内容 (the place) S' V'

内容Check!

問 次の各文が正しければ () に○を、誤っていれば×を記入しなさい。

1. The Emperor of the Han Dynasty was not only a great fan but also a player of *tsu chu*. ()
2. Soccer in Britain in the 8th century was a war game. ()
3. In the early 19th century Cambridge University set a rule which allowed the ball to be carried during the game. ()

覚えておきたい表現

it is ~ (that)+S+V [(that 以下) ということは~だ] (形式主語構文)

ℓ.3 : **it is** even possible *tsu chu* could go back to 5000 B.C. 「蹴鞠が紀元前5000年にさかのぼることさえあり得る」

・ it is even possible (that) ... の it は形式主語なので「それは」と訳さないこと。ここでは that が省略されているが、真の主語は that 以下で、「…ということは」というように意味をとるとよい。could は、ここでは「ひょっとすると~かもしれない」という意味。

Ex. **It is** true **that** Ken won the national skating championship three years ago. 「ケンが3年前にスケートの全国大会で優勝したのは本当だ。」

It is not until ~ that ... 「~になって初めて…する；~するまで…しない」

ℓ.8 : **It was not until** 1815 when Eton College set up a series of rules for the game **that** it became a less violent sport. 「イートン校が競技の一連のルールを設けた1815年になって初めて、サッカーはそれほど暴力的ではないスポーツになったのである。」

・ 本文は It did **not** become a less violent sport **until** 1815 when Eton College set up a series of rules for the game. の下線部を強調して、It is [was] not until ~ that ... の形にしたものである。訳す際は「~になって初めて…する」としてもよいし「~するまで…しない」としてもよい。文脈に合わせて訳し分ける。

Ex. **It is not until** we lose our health **that** we realize its value. 「健康を失って初めてその価値がわかる〔健康を失うまではその価値がわからない〕。」

・ a less violent sport 「それほど暴力的ではないスポーツ」: less は「より~でない」と否定的にとるとよい。

Ex. To go by car is **less** expensive than to go by train. 「車で行く方が電車で行くより金がかからない。」

This is where ... 「…するのはここだ；ここで…する」

ℓ.12 : **This is where** rugby and soccer developed into two different sports. 「ここで、ラグビーとサッカーが、2つの別々のスポーツへと発展したのである。」

・ This is where ... : This is the place where ... と書き換えられる。関係副詞 where の前に the place が省略されている。

Ex. **This is where** the hospital used to be. 「ここは昔、病院があったところだ。」

整理しよう！ *段落要旨・構造*

① 中国での *tsu chu* の歴史

・ 漢の皇帝: *tsu chu* の擁護者 → このため *tsu chu* は中国全土に広まった。

◆ ℓ.2 **Some** ~ 「ある~は: 列挙・追加」

中国人の中には、*tsu chu* は紀元前5000年からあったと主張する人もいる。

② 英国でのサッカーの歴史

・ サッカーは英国で8世紀に作られたと英国人は主張する。

・ もとは娯楽ではなく、軍事演習だった。大変荒っぽく死傷者も多かった。

・ 1815年、イートン校がルールを定め、以前ほど暴力的ではなくなった。

→ このようなルールは他の大学に広まっていった。

・ 1848年、ケンブリッジ大学がルールを定め、^お蹴りや、ボールを手で運ぶことが禁止された。

→ ここから、ラグビーとサッカーが、別々の発展を遂げた。

背景知識

● サッカーとラグビーの分化

サッカーの母国とされる英国では、サッカーはフットボールと呼ばれる。そのフットボールが、農村などで対抗戦としてボールを相手陣地に運ぶことを競う荒々しいボールゲームから、フェアプレーの精神と明確なルールに基づくスポーツに生まれ変わったのは19世紀中頃のことであった。この頃、英国の指導者層の教育機関としての役割を担うパブリックスクールには、規律ある教育活動を浸透させようとする改革運動があったが、これがこうしたフットボールの「スポーツ化」の一役を担ったとされる。この改革の旗手とされるのは、ラグビー校校長のトーマス・アーノルドであり、ラグビー校は1845年にフットボールのルールを初めて成文化したとされる(このルールではボールを手で持ってゴールに駆け込むランニングインが認められていた)。1848年にケンブリッジ・ルールが成立し、そのルールでは手を使うことが禁止されたというのは本文にあるとおりである。その後、1863年にパブリックスクールの卒業生たちを各校の代表として集めたサッカー協会 (Football Association) が結成され、ケンブリッジ・ルールをフットボールの統一ルールとして採用した。この採用決定の際に、ラグビー校の代表者は自校のルールで認められている「手を使うこと」を禁じることに反対した。この反対がサッカーとラグビーの分かれ目となる。1871年、統一ルールに反対したラグビー校の一派は、ラグビー・フットボール・ユニオン (Rugby Football Union) を結成してラグビーを独自に発展させる基礎とし、他方、サッカー協会は FA カップを創設することとなった。

【深めたい人に】: アルフレッド・ヴァール著、大住良之監修、遠藤ゆかり訳『サッカーの歴史』(創元社、2002年)、山田和子『イギリス・スポーツ紀行』(千早書房、2002年)